

| | |
|------|-----------------------------------------------------|
| 要件事項 | <p><海上/航空業務> 電子原産地証明書の外連携</p> |
| 機能概要 | <p><変更前仕様> 原産地証明書（C/O）は電子化されていない</p> |
| | <p><変更後仕様> 原産地証明書（C/O）の電子化を行う（インドネシア）</p> |

1. 変更内容

(1) オンライン業務の新規追加/変更

「輸入業務」カテゴリ内に新たに以下の機能・業務を新設する。

<1> 「原産地証明書利用者登録（OUA）」業務の新規追加

「N-C/O番号」若しくは「C/O番号」及び「eC/Oキー」（仮に国を跨いで重複した場合には「国コード」も入力）を入力し、通関業を指定（最大10利用者）することで該当する原産地証明書情報を利用可能とする利用者を特定し、C/O情報DBを更新する。

特定した原産地証明書情報について、登録した輸出入者及び指定した通関業を利用可能とし、「C/O番号」に係る「N-C/O番号」を「利用者登録情報」に出力する。

また、通関業の上書き、取消も行う。

指定された通関業は、「輸出入申告事項登録業務（IDA）」業務、「原産地内取内容仮登録（OAC）」業務において、原産地証明書情報の利用が可能となる。

本登録が実施されれば、登録・指定した輸出入者および通関業において、当該原産地証明書を輸入申告で利用可能となる。

通関業、輸出入者が利用者となる。

<2> 「原産地証明書利用者登録呼出し（OUB）」業務の新規追加

「N-C/O番号」若しくは「C/O番号」及び「eC/Oキー」（仮に国を跨いで重複した場合には「国コード」も入力）を入力し、OUA業務に利用しうる情報をC/O情報DBより呼び出す。

<3> 「原産地内取内容仮登録（OAC）」業務の新規追加

IDA業務後、原産地証明書情報を適用する数量等の仮登録（内取り）を行い、C/O情報DBに登録する。仮登録した内容は訂正、取消を可能とする。

原産地証明書情報を適用する数量等の訂正を行った場合はC/O情報DBを更新する。更新時は、更新された欄の情報を「原産地証明書内取内容仮登録控情報」として入力者に出力する。

なお、IDA業務で入力された数量とのチェック・呼出しは行わない。

通関業、輸出入者が利用者となる。

<4> 「原産地内取内容呼出し（OAB）」業務の新規追加

「N-C/O番号」若しくは「C/O番号」及び「eC/Oキー」（仮に国を跨いで重複した場合には「国コード」も入力）を入力し、OAC業務に利用しうる情報をC/O情報DBより呼び出す。

<5> 「原産地内取内容税関確認後訂正確認（CUC）」業務の新規追加

OAC業務により登録された内容を税関確認後に輸出入者又は通関業が訂正した場合、OAB業務より本業務を呼出し、「N-C/O番号」を入力することで訂正内容（内取数量）について税関による確認を行う。C/O情報DBを税関確認済みに更新し、通関業に「原産地証明書内取内容税関確認後訂正確認結果通知情報」を出力する。

税関が利用者となる。

<6> 「原産地証明書情報内容照会（IOV）」業務の新規追加

システムに登録された原産地証明書情報について「N-C/O番号」若しくは「C/O番号」及び「eC/Oキー」（仮に国を跨いで重複した場合には「国コード」も入力）を入力することで、C/O情報DBより原産地証明書情報及び内取履歴情報を照会する。

「照会区分」に「C：帳票出力」が入力された場合は、入力された原産地証明書情報に係る「原産地証明書情報照会情報」及び「別紙_原産地証明書情報照会情報（仕入書／内取情報）」を帳票出力する。

<7> 輸入申告事項登録業務等の変更

(A) C/O情報DBのチェックの追加

「輸入承認証等識別」欄及び「輸入承認証番号等」欄に原産地証明書情報に係る入力があった場合、以下のC/O情報DBのチェックを行うように変更する。（輸入申告番号の先頭10桁が一致する内取情報についてチェックする。）

原産地証明書情報に係る新規の輸入承認証等識別コードを追加する。

「GENN」（電子原産地証明書（N-C/O番号））

「GENS」（電子原産地証明書（eC/Oキー、C/O番号））（※1）

なお、窓口申告端末（キオスク端末）では入力不可とする。

（※1）eC/OキーとC/O番号は順序どおり隣あって入れたものをペアとする

申告等種別が以下の場合、「輸入承認証等識別」に「GENN」または「GENS」が入力されていた場合でも、電子原産地証明書にかかるチェックや処理は行わない。

T・V：特例申告

K・D：蔵出輸入申告

U・L：移出輸入申告

B・E：総保出輸入申告

R：蔵出輸入（引取・特例）申告

また、申告等種別「S：蔵入承認申請」「M：移入承認申請」「A：総保入承認申請」において、

「最初蔵入等承認年月日」欄に入力がある場合、「輸入承認証等識別」に「GENN」または「GENS」が入力されていた場合でも、電子原産地証明書にかかるチェックや処理は行わない。

対象業務は以下。

- ・「輸入申告事項登録（IDA）」業務
- ・「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務
- ・「シングルウィンドウ輸入申告事項登録（SWA）」業務

(B) 「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務の変更

一括特例申告は原産地証明書（C/O）の対象外とする。

そのため、輸入（引取）申告に係る輸入申告DBにおいて「輸入承認証等識別」に「GENN」「GENS」が登録されていないことをチェックするように変更する。

（C/O情報を使用する際には必ず、IDA01業務→IDE業務の順にて特例申告を行う。）

(C) 「石油製品等移出（総保出）輸入申告事項登録（MWA）」業務、及び「石油製品等移出（総保出）輸入申告変更事項登録（MWA01）」業務の変更

石油製品等移出（総保出）輸入申告は原産地証明書（C/O）の対象外とする。

そのため、MWA業務またはMWA01業務において、「輸入承認証等識別」欄に「GENN」「GENS」が入力されていないことをチェックするように変更する。

<8> 輸入申告等業務の変更

(A) C/O情報DBのチェックの追加並びに、「原産地証明書情報登録通知情報」及び「別紙_原産地証明書情報登録通知情報（仕入書／内取情報）」の出力処理の追加

申告時に「輸入承認証等識別」欄及び「輸入承認証番号等」欄に原産地証明書情報に係る入力があった場合、C/O情報DBのチェック及びC/O情報DBに存在する当該原産地証明書情報（内取情報）にかかる申告がされたことを更新するように変更する。

なお、内取を実施しない場合は、全欄全量内取りされたものとして処理する。

また、以下の場合は許可時より6日間（日祝含まず）保存とする。

- ・全欄全量内取りされた場合、かつ、全ての申告が許可/承認（取消が行われた申告は除く）となった場合
- ・OAC業務で内取回数上限に達している場合、かつ、全ての申告情報の仮登録が取消された場合

対象業務は以下。

- ・「輸入申告（IDC）」業務
- ・「輸入申告変更（IDE）」業務
- ・「シングルウィンドウ輸入申告（SWC）」業務

(B) 内取数量確定処理

「輸入承認証等識別」欄及び「輸入承認証番号等」欄に原産地証明書情報に係る入力があった場合で、かつ以下のいずれかの場合に、C/O情報DBに存在する当該原産地証明書情報（内取情報）にかかる内取りが確定したことを更新するように変更する。（輸入申告番号の先頭10桁が一致する内取情報について内取りを確定する。）

- ①区分1（BP申請を除く）
- ②審査終了（BP申請を除く）
- ③IBP審査終了

対象業務は以下。

- ・「輸入申告（IDC）」業務
 - ・「シングルウィンドウ輸入申告（SWC）」業務
- (C) C/O情報DB更新処理並びに、「原産地証明書情報確認結果通知情報」及び「別紙_原産地証明書情報確認結果通知情報（仕入書／内取情報）」の出力処理の追加

「輸入承認証等識別」欄及び「輸入承認証番号等」欄に原産地証明書情報に係る登録がされた輸入申告が許可・承認された場合、C/O情報DBに存在する当該原産地証明書情報について許可・承認された旨を更新するように変更する。また、当該申告が許可・承認された業務を契機に、多数件業務の1COPR業務を自動起動し、OAC業務の入力者または、申告者に輸入申告された原産地証明書情報に係る「原産地証明書情報確認結果通知情報」及び「別紙_原産地証明書情報確認結果通知情報（仕入書／内取情報）」を出力する。

対象業務は以下。

- ・「輸入申告（IDC）」業務
- ・「輸入申告変更（IDE）」業務
- ・「シングルウィンドウ輸入申告（SWC）」業務
- ・「MPN消込（MP2）」業務（※2）

(※2) 対象業務実施時に当該原産地証明書情報がC/O情報DBに存在しない場合、以下の処理は行わない。なお、対象業務で業務エラーにはせず、対象業務は正常終了とする。

- ・C/O情報DBの原産地証明書情報が許可・承認されたこと旨を更新する。
- ・許可・承認された業務を契機に、多数件業務の1COPR業務を自動起動し、OAC業務の入力者または、申告者に輸入申告された原産地証明書情報に係る「原産地証明書情報確認結果通知情報」及び「別紙_原産地証明書情報確認結果通知情報（仕入書／内取情報）」を出力する。

(2) DBの新規追加／変更

以下のDBを新規追加する。

- ・「C/O共通情報DB」（新規）
- ・「C/O情報DB」（新規）
- ・「C/O明細情報DB」（新規）

2. 変更対象業務

<オンライン業務>

- ・「原産地証明書利用者登録（OUA）」業務（新規）
- ・「原産地証明書利用者登録呼出し（OUB）」業務（新規）
- ・「原産地内取内容呼出し（OAB）」業務（新規）
- ・「原産地内取内容仮登録（OAC）」業務（新規）
- ・「原産地内取内容税関確認後訂正確認（CUC）」業務（新規）
- ・「原産地証明書情報内容照会（IOV）」業務（新規）
- ・「原産地証明書情報系帳票出力（1COPR）」業務（多数件）（新規）
- ・「輸入申告事項登録（IDA）」業務（既存）
- ・「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務（既存）
- ・「石油製品等移出（総保出）輸入申告事項登録（MWA）」業務（既存）
- ・「石油製品等移出（総保出）輸入申告変更事項登録（MWA01）」業務（既存）
- ・「シングルウィンドウ輸入申告事項登録（SWA）」業務（既存）
- ・「輸入申告（IDC）」業務（既存）

- ・「輸入申告変更（IDE）」業務（既存）
- ・「シングルウィンドウ輸入申告（SWC）」業務（既存）
- ・「MPN消込（MP2）」業務（既存）
- ・「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務（既存）

3. リリース予定日／サービス開始予定日

(1) AP、端末資材

AP : 2023年3月19日（日） 保守時間帯
端末資材 : 2023年3月19日（日） 04:00